

第3回

みらい

未来担い、手養成塾

活動報告書

とき 平成26年8月28日(木)18:30～
ところ エキパル倉吉 多目的ホール

<第3回内容>

前は塾生それぞれの関心がある項目によってグループ分けをし、2グループを作成。
第3回となる今回は小野塾長の講話と、11月の政策発表会に向けたグループごとのテーマ選定を行いました。

<小野塾長講話>

『これからの地域と街づくりを考える上での、10の問い』というタイトルのもと、塾生の皆さんが議論する際のバックグラウンド・共通認識となる内容について講義していただきました。

今の時代背景などを踏まえ、人口減少や地域活性化、地方分権など10項目の問いかけについて、塾生に考えてもらいました。

絶対的な1つの正解がないこのような課題に対して、行政と市民が一緒になって考えていく必要があります。

<各グループテーマの方向性>

◆グループA:『移住・定住』

「なぜ移住に繋がらないのか」、「どうすれば移住が進むのか」という視点のもと、主に子育て世帯の負担軽減について議論を進める。

◆グループB:『倉吉らしさ』

「倉吉の良さを外部に発信する」、「倉吉市民が倉吉の魅力を再認識する」という視点のもと、①観光等で外部へ倉吉を発信し人を呼び込む方策について、②地域内における人の繋がりや世代間交流について議論を進める。

※ともに現時点でのものであるため、変更される可能性があります。

<第3回を終えて>

今回は、前回時間の都合上行えなかった塾長講話をまず行っていただきました。その中で、『人口減少社会において政策を打つ際には、「現状維持」を目指すものはマイナスの結果になる可能性が高く、体制のスリム化を図りながらも攻めの姿勢が重要だ』というお話が印象的でした。

今年度初めての試みとなる本事業が、市役所のみならず、市民の皆さんをも巻き込んだ「攻め」の取り組みになればと期待しています。

(事務局)

発行:未来担い手養成塾事務局
(倉吉市総合政策課)



くさすく